

普及現地情報



発信年月日：令和3年(2021年)5月12日
所属名：湖東農産普及課
番号：F21001
部門分類：150 野菜
発信者名：丸橋 中島 木村

タマネギの春季現地巡回指導を開催

当課では、5月11日にJA東びわこと合同で加工用タマネギの圃場を巡回し、生育状況の確認と現地での指導を行いました。

加工用タマネギは、5年前から水田野菜における重点品目に位置付けて推進してきましたが、令和元年度に湿害や病気の発生などで収量が低くなり、貯蔵性も劣るなど十分な結果を出せませんでした。そこで令和2年度からは定植前に現地指導を行い、圃場ごとに状況を判断するとともに、定植後も定期的に巡回することで、湿害や病虫害の影響を受けることなく、収量や品質の高いタマネギが収穫できるなど成果を上げてきました。

令和3年度は、JAと連携し定植前の研修会で排水・畦立・除草についての助言を行なった結果、細菌性病害や雑草の発生は少なく生育も順調に進んでいました。しかし、今回の巡回では、べと病の急性病斑が増えネギアザミウマの発生も多く見られましたが、現地を確認することで病虫害の早期発見につながることができました。

梅雨入りが早く、今後も降雨の日が続くと予想される中、農家には早期に病虫害防除の情報が提供できるよう指導していきます。

当課では水田野菜を作付けする経営体の育成を進めており、今後も水田農業における経営の複合化を進め、タマネギ栽培の定着と産地化をめざして支援していきます。



タマネギの生育状況を確認